

平成 22 年第 6 回庄原市議会定例会

一般質問通告者  
及び  
質問事項

9月28日～9月30日

質問順位

- |              |              |
|--------------|--------------|
| 1 . 赤 木 忠 徳  | 2 . 横 路 政 之  |
| 3 . 徳 永 泰 臣  | 4 . 谷 口 隆 明  |
| 5 . 林 高 正    | 6 . 名 越 峯 壽  |
| 7 . 坂 本 義 明  | 8 . 八 谷 文 策  |
| 9 . 宇江田 豊 彦  | 10 . 藤 山 明 春 |
| 11 . 福 山 権 二 | 12 . 田 中 五 郎 |
| 13 . 小 谷 鶴 義 | 14 . 垣 内 秀 孝 |

庄 原 市 議 会

# 平成22年9月定例会 一般質問

順位	質問議員	質問項目	ページ
1	赤木 忠徳	サンエーマイクロセミコンダクタ(株)の撤退に対する対応は	1
2	横路 政之	ゲリラ豪雨災害にどう対応するか	2
		予防ワクチン助成やがん対策について	3
		3世帯同居を奨励する制度を	4
3	徳永 泰臣	豪雨災害の復旧再建について	5
		定住促進について	6
4	谷口 隆明	国民健康保険の再建について	7
		災害対策について	8
		市政懇談会について	8
5	林 高正	人口減少について	9
		市政懇談会について	9
		庄原さとやま博等の観光行政について	10
6	名越 峯壽	大相撲庄原さとやま場所について	11
		生活交通路線バスの運行について	12
		火災の対応について	13
7	坂本 義明	庄原市の博物館、資料館の管理運営について	14
8	八谷 文策	農林業施策について	15
9	宇江田豊彦	教職員の超過勤務縮減に向けて	16

順位	質問議員	質問項目	ページ
10	藤山 明春	7月豪雨における農地の災害復旧について	18
		地上デジタル放送難視聴対策について	19
		地域おこし協力隊の活用について	20
		集落支援員制度について	20
11	福山 権二	経済対策について	21
		雇用対策について	22
		医療対策について	23
12	田中 五郎	平成23年度を新庄原市農林業振興計画の策定・実行初年度に	24
		農業委員会会長としての庄原農業の現状認識と農業委員会の役割について	25
13	小谷 鶴義	自治振興区と支所の関係のあり方について	26
		市内一斉小・中学校学力調査について	27
		高等学校再編について	27
14	垣内 秀孝	庄原市健康増進施設比和温泉施設あけぼの荘の整備促進について	28

#### 一般質問（予定）

9月28日（火）赤木忠徳・横路政之・徳永泰臣・谷口隆明・林高正

9月29日（水）名越峯壽・坂本義明・八谷文策・宇江田豊彦・藤山明春

9月30日（木）福山権二・田中五郎・小谷鶴義・垣内秀孝

順位	1	質問者	赤木 忠徳
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者
1. サンエーマイクロセミコンダクタ株の撤退に対する対応は	<p>半導体製造のサンエーマイクロセミコンダクタ株が、同じ三菱電機系列企業との合併に伴い、来年3月末で西城町から撤退することが、6月22日付け中国新聞に掲載された。</p> <p>従業員はパートなどを含め約110人。全員に長崎県諫早市への転勤を促すことになるが、応じられない人もいとみられる。</p> <p>同社は西城町に約8,000平方メートルの工場などを所有し、無線通信向けの半導体を製造している。平成21(2009)年度の売上高は約25億円。</p> <p>6月に他の議員が市長に対応を質したが、企業利益を追求する企業の方針で撤退は止められないとの答弁であった。</p> <p>本市としては6月議会の答弁を踏襲されているのか。</p> <p>それとも、全力で撤退を取りやめていただく条件提示、新しい三菱グループの会社誘致などを取り組まれているのか。</p> <p>庄原市の企業として、市長、副市長、商工観光課長が対応されるべきと考えるが、市長の答弁を求める。</p>		市長

順位	2	質問者	横路 政之
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者
1.ゲリラ豪雨災害にどう対応するか	<p>地球温暖化の影響などで、雨の降り方に変化が生じている。気候変動による災害続発にどう対応するか、被害が甚大化する集中豪雨や土砂災害の現状にどう対応し、住民の生命と財産をどのように守っていくか、地方自治体に課せられた喫緊の課題である。</p> <p>(1)本市の近年の気候変動の実態、それに伴う土砂災害の発生状況はどのようになっているか伺う。</p> <p>(2)土砂災害ハザードマップ、それに伴う発令基準について伺う。また、それらはゲリラ豪雨などを想定したものになっているか。</p> <p>(3)本市の深層崩壊の発生の危険がある場所や規模などの調査はどのようになっているのか。</p> <p>(4)近年の洪水では、ハザードマップと実際の被害が食い違う事態が各地で起きている。再度、実態に合ったマップにするべきと思うが、考えを伺う。</p> <p>(5)河川行政、治水整備は時間雨量50ミリ基準で行われているが、見直す考え方について伺う。</p>		市長

順位	2	質問者	横路 政之
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者
2. 予防ワクチン 助成やがん対 策について	<p>子宮頸がんや細菌性髄膜炎などの病気から女性や子どもを守る予防ワクチンについて、経済的負担を軽減するため、公費助成に取り組む自治体が広がっていることが、厚生労働省の調査で明らかになった。</p> <p>(1) 来年度予算編成にあたって、こうした地方自治体に広がる予防ワクチンについて、本市も積極的に取り組むべきと思うが、考えを伺う。</p> <p>(2) 特に予防できる唯一のがんが子宮頸がんであり、検診とワクチン接種を併用すれば、ほぼ 100% 予防できるとされている。来年度も乳がん・子宮頸がん検診クーポンを継続実施し、本市も子宮頸がんゼロへ挑戦するべきと思うが、考えを伺う。</p> <p>(3) 日本は世界有数のがん大国であり、がん対策の柱の一つである検診について、がん対策基本計画では平成 23 (2011) 年度までに受診率 50%以上という大きな目標を掲げている。全国平均は 24.5%であるが、目標年次まであと 1 年半、本市の受診率アップの取り組み状況について伺う。</p>		市長

順位	2	質問者	横路 政之
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者
3. 3世帯同居を 奨励する制度 を	<p>昨年11月、公明党が全国で行った介護総点検では、自宅で介護を受けている人のうち、困っていることは、「介護する家族の負担が大きい」が最も多く、次いで、「本人や家族の具合が悪くなった時に一時入所できる施設がない」「利用料が高い」「介護施設への入所まち」と続いた。本来介護保険は、地域で、社会全体で考え、支えあい、高齢者の真の自立を支援するための仕組みとして設けられたはずである。元気な孫の顔を見ながらおじいさんやおばあさんが子守りをし、子どもをしつけ、豊かな道德心を醸成し、おじいさんやおばあさんが倒れたり寝込んだら、家族みんなで介護し、看取っていく。家族を大事にする意味からも3世帯同居手当を創設したらどうか。考えを伺う。</p>		市長

順位	3	質問者	徳永 泰臣
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者
1. 豪雨災害の復旧再建について	<p>(1) 私有財産の復旧再建について</p> <p>私有財産の損害調査は終わったのか。市として損害は把握できているのか。また、私有財産の復旧について、市としての支援策はあるのか伺う。</p> <hr/> <p>(2) ほ場整備借入資金の償還に対する市の支援策について</p> <p>ほ場整備をされ、現在借入償還中の被災者が、今回の災害により米代収入も絶たれ、来年以降の収入も不透明な状況の中、市独自の支援策は考えられないか伺う。</p>		市長



順位	3	質問者	徳永 泰臣
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者
2. 定住促進について	<p>(1) 若者定住のための施策について</p> <p>本市の人口は減少の一途をたどっており、特に若年層の減少が著しい。このことは地域の活力を維持していく上で、大変深刻な問題ではないか。</p> <p>過疎化及び高齢化を緩和するために必要な措置を講じ、若者の定住、人口の増加を図るとともに、若者が魅力ある独創とロマンに満ちた豊かで活力あるまちづくりに取り組む必要があると考えるが、現在、本市で取り組みが行われている若者定住の具体的施策について伺う。</p> <hr/> <p>(2) プライダルサポートセンターの現在までの登録者数・相談件数及び実績を伺う。</p>		市長

順位	4	質問者	谷口 隆明	答弁を 求める者	
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者		
1. 国民健康保険 の再建について	<p>(1) 政府は、通常国会で成立した国民健康保険法改正によって知事に広域化等支援方針の策定を求めている。県との協議の進捗状況、スケジュール、県の支援方針の内容はどのようになっているのか。広域化すれば、住民の声や市町村議会の声が届かなくなるなど大問題だ。国は当面、広域化によって保険料の平準化(値上げ)や一般会計繰り入れの全廃を狙っているが、その場合の本市への影響はどのようなのか。</p> <p>(2) 社会保障としての国民健康保険の再建をするためには、広域化による市町村国保の解体・変質ではなく、国庫負担のともとの水準への復元や、被保険者証の取り上げの全面中止など、法の本来の理念に立ち返ることこそ大事だと考えるがどうか。また、これ以上市民負担を増やすべきではないと考えるが、来年度の国保運営の見通しはどうか。</p>		市長		

順位	4	質問者	谷口 隆明	答弁を 求める者
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者	
2. 災害対策について	(1) 市内には土石流危険箇所など災害危険地域がたくさんあるが、災害未然防止対策の取り組みの現状と今後の基本方針はどうなっているか。また、市で作成している地区別のハザードマップを各戸に配布を徹底すべきだと考えるがどうか。		市長	
	(2) 今回の豪雨災害による避難生活者の家賃猶予の延長はもとより、国県への要望を含めて個人住宅再建への支援の拡充を図るべきではないか。			
	(3) 各被害地域の自治会等関係者との再建に向けた話し合いの経過、復興プランはどのようになっているのか。			
3. 市政懇談会について	<p>今年度から旧市町単位の自治振興区と市の代表者が意見交換を行う方式に変更された。</p> <p>市内各地の小さな声をぶっつけ本番で聞く場が必要だと思う。</p> <p>市の参加者も市長以下数人でよいのでは。市内 18 会場を固定化せず、毎年 18 カ所程度小さい集会所に出向き、ひざを交えて懇談してこそ価値があると思うがどうか。</p>		市長	

順位	5	質問者	林 高正
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者
1.人口減少について	<p>庄原市は合併して6年目だが、過去5年で、年平均 653 人の人口が減少している。人口減少社会は確実に進行していることは認めるが、本市の場合は他市に比べ減少速度が速すぎるのではないか。</p> <p>人口が減少することから被る本市の各種デメリットを伺う。</p> <p>また、今後新たに有効な人口増（定住促進）に対する具体的取り組みをどう考えているのか伺う。</p>		市長
2.市政懇談会について	<p>8月6日に企画課から示された「平成22年度市政懇談会の実施について」によると、5年間実施した結果、参加者は年々減少してきており、参加者及び発言者が固定化してきている。また、市側の出席者数が多いため、市民の皆さんが自由に意見を述べにくいとなっている。</p> <p>それで、本年度から旧市町単位7地区で自治振興区と市の代表者が意見交換を行う方式で実施するとしている。</p> <p>一気に実施方法を見直すのではなく、市民に来てもらえる努力をすべきではないか。三次市の市政懇談会には各地とも多くの住民が参加されている。さらに、議会報告会も開催</p>		市長

順位	5	質問者	林 高正
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者
2. 市政懇談会について	<p>されているが、市政懇談会の半数程度の住民が参加されている。</p> <p>住民の市政に対する関心度の違いもあると思うが、本市と根本的に何が違うのか。本市がこれまでの5年間で市政懇談会に来てもらえる努力をした足跡を示していただきたい。</p> <p>実施方法を変更した方が、住民の意見が市政に反映されやすいといわれる根拠について伺う。</p>		市長
3. 庄原さとやま博等の観光行政について	<p>今年10月3日より来年11月30日まで開催される庄原さとやま博の基本コンセプトは何か、再度伺う。</p> <p>さとやま博に関し、商工観光課と観光公社設立準備室の連携はどうなっているのか。育てるのであれば、観光公社設立準備室に大部分を任せの方がよいのではないかと思うが、これまでの両者の関係と進捗状況を伺う。</p>		市長

順位	6	質問者	名越 峯壽		
項目		質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者	
1.大相撲庄原さとやま場所について		<p>本市の合併5周年を記念して、市民の一体感の醸成と協働のまちづくりの推進、広く庄原市をPRし、地域の活性化を図るとともに、国技である本物の相撲に触れることで、備北地域のスポーツ振興に寄与することを目的とし、滝口市長が実行委員長のもと、大相撲庄原さとやま場所が10月29日に開催される。</p> <p>市民にとってはとても関心があり、多くの方が観戦を望んでおられる。本市の活性化、多くの市民にPRするために次のことについて伺う。</p> <p>入場券は特定の人でなく、多くの一般市民の皆様への販売を望むが、どのように販売されるのか。また、お年寄りに特別優遇（割引）をすべきと思うが考えを伺う。</p> <p>ちびっこの稽古とあるが、平日で登校日だが、対象者への呼びかけはどのようにされるのか。さらに、スポーツ振興にどのように寄与されるのか伺う。</p>		市長	

順位	6	質問者	名越 峯壽	
項目	質問の小項目及び要旨			答弁を 求める者
2.生活交通路線 バスの運行に ついて	<p>交通弱者の日常生活になくってはならない生活路線バスについて伺う。</p> <p>(1) 小奴可・西城間の定期バスについて、金融機関、歯医者、西城市民病院の午後の診察、入院対応など地域や利用者のため復路乗車ができないか。</p> <p>(2) 小奴可発～庄原～三次の乗り継ぎが時刻表変更によりできなくなったが、復活できないか。</p> <p>(3) 生活交通路線バスの路線変更について  東城～小奴可線（東城・JA小奴可支店間）、西城～小奴可線（西城市民病院・JA小奴可支店間）について  利用者の多い市道小奴可日野原線を経由する路線に変更できないか。また、小奴可での金融機関、歯医者、買い物のため、折り返しの待ち時間を30分から70分できないか。</p> <p>(4) 小奴可～三坂線の新設について  西城三坂地区の皆さんは、歯医者、農協、買い物など小奴可地域との結びつきが強い。利用者の方々は公共交通機関を必要とされているが、生活路線バスの新設はできないか。</p>			市長

順位	6	質問者	名越 峯壽
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者
3. 火災の対応について	<p>これから火災が発生しやすい時期となるが、大火を防ぐために、次のことについて伺う。</p> <p>(1) 消火活動に必要な水源地、消火栓、防火水槽等各地域での格差はないのか。 また、必要数は確保されているのか。</p> <p>(2) 消火栓の整備点検はされているのか。 特に三楽荘など重要建造物に対する対策はできているのか。</p>		市長



順位	7	質問者	坂本 義明
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者
1. 庄原市の博物館、資料館の管理運営について	<p>(1) 本市では、現在各地域にある多数の民具、寄贈資料など貴重な財産をそれぞれ支所等で管理運営している。</p> <p>我々の先祖の方々の汗と涙の染み込んだ大切な財産を今、大事に管理して、次世代に地域の宝として伝えていく責任がある。</p> <p>そこで、この財産を今見直し、整理統合して展示するためにも、専門員を配置すべきと考えるがどうか。</p> <hr/> <p>(2) 施設の運営方法として、まちおこし企画展示、さとやま博等と連携し、施設の紹介、観光ルートへの企画を行い、より広くPRすべきと考えるがどうか。</p>		市長 教育長

順位	8	質問者	八谷 文策
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者
1. 農林業施策について	市長が考えられている農林業施策と農林振興公社の会長としての運営方針について、整合性は図られているのか伺う。		市長

順位	9	質問者	宇江田 豊彦
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者
1.教職員の超過勤務縮減に向けて	<p>文科省・県教委によって進められてきた「98年是正指導」で、小中学校現場においては多忙化が進み、超過勤務の状況となっている。</p> <p>教育条件整備の中でも最も大切なのは教職員であり、憂慮すべき実態と考えている。</p> <p>この件については、昨年9月議会においても一般質問をしたが、この間の取り組みにおいてどのように改善されているのか以下伺う。</p> <p>(1) 昨年4月より教職員みずから入校の際と退校の際の時刻を記録するようになり、大いに活用されるものと思っていたが、全く現場において活用されていないとの声もある。</p> <p>昨年の実態と変わっていないと思うが、昨年と比較して現状分析はどのようにしているのか伺う。また、早朝の入校、20時以降の退校、土曜日、日曜日に学校で仕事をしている実態がどれだけあるのか。教育委員会で管理はしないと言われた入校退校時刻記録の超過分が80時間を超える職員の実態について伺う。</p>		教育長

順位	9	質問者	宇江田 豊彦
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者
1.教職員の超過勤務縮減に向けて	<p>(2) 学校衛生委員会(これに準ずる会)の開催状況、また学校現場の超勤実態解消にどれだけの役割を果たしているのか具体的に伺う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 6月までに開催されているのか。</li> <li>・ 10校くらい設置されているが、実動していないと思う。各校長にどのように指導をし、集約しているのか。</li> <li>・ 現場で管理されている入校退校記録をもとにして議論をされているのか。</li> <li>・ 心がけにさせない実効ある業務の見直しが議論されているのか。</li> </ul> <p>-----</p> <p>(3) 教職員の健康維持、家庭生活の両立に向けて、次世代育成支援特定事業主行動計画をどのように具体化しているのか。また、数値的目標設定はどのようになっているのか。</p> <p>あわせて病休者の実態についてどのようになっているのか伺う。</p> <p>-----</p> <p>(4) 超勤縮減について、市教委の学校長に対する具体的な指導・点検状況と労働安全体制整備に向けた決意を伺う。</p>		教育長

順位	10	質問者	藤山 明春
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者
1. 7月豪雨における農地の災害復旧について	<p>農地の災害復旧について、次の点について伺う。</p> <p>(1) 復旧すべき農地の面積と戸数並びに農地復旧に係る概算事業費はいくらか。また、復旧し、営農ができるまでの工事は、いつから始まり、いつ頃までかかるのか。</p> <p>(2) 激甚災害指定と市の特例措置で農家負担は1%とのことであるが、1戸当たりの負担額平均と負担最高額はいくらくらいと推計しているか。全滅に近い方は、1%の負担でも大変な金額だ。もう少し軽減することはできないか伺う。</p> <p>(3) 同じ農家として、惨状を見ると心が痛む。復旧工事以外の心のケアはどんなことが考えられるか伺う。</p>		市長

順位	10	質問者	藤山 明春
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者
2.地上デジタル 放送難視聴対 策について	<p>地上デジタル放送の難視聴対策については、6月定例会において他の議員から質問があったところであるが、デジタル化まで10カ月を切った今、整備状況、経費等について、再度伺う。</p> <p>(1) 難視聴地区の数は、おおよそ何地区何世帯あると把握されているか伺う。</p> <p>(2) 難視解消には有線共聴施設などで1世帯当たり7,000円の負担で整備できるよう補助制度を設けているとの回答であったが、どの地域であっても同額か。</p> <p>(3) 有線共聴施設の場合、施設から家までの配線方法を伺う。(例えば柱とか)</p> <p>(4) 難視地域の市民からランニングコストに対する不安の声が上がっている。過疎で世帯数が減り、1戸当たりの負担が増えるのではとの懸念であるが、この点をどう考えておられるか伺う。</p>		市長

順位	10	質問者	藤山 明春
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者
3. 地域おこし協力隊の活用について	<p>地域おこし協力隊については、平成21年12月定例会において、見解を伺ったところであるが、今回、中国新聞の7月19日付け社説や、その社説を読んだ方の投稿が8月11日付けで同新聞に掲載された。「ムラおこしを担う新住民」あるいは「地域協力隊 過疎対策に有効」との見出しであった。</p> <p>こういった制度を有効に活用すべきだと考えるが、次の点について伺う。</p> <p>(1) この制度の活用について、前向きに検討されたことがあるか。あればその結果について伺う。検討されていないのなら、その理由を伺う。また、今後研究し、活用してみようという考えがあるか伺う。</p> <p>(2) いわゆる限界集落を超え、消滅が危ぶまれる地区が出てきていると感じるが、市内ではいくつくらいあるか伺う。</p>		市長
4. 集落支援員制度について	<p>集落支援員制度については、昨年6月にも伺っているが、調査、研究、情報収集を続け、有益で効果的と判断すれば導入を検討するとの回答だったが、その後の取り組み状況について伺う。</p>		市長

順位	1 1	質問者	福山 権二
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者
1. 経済対策について	<p>( 1 ) 本市の経済活性化に対する政策について何う。</p> <p>合併後 5 年経過したが、本市の経済活動総体はどのように成長してきたのか。本市の経済活動活性化促進に本市行政はどのように対応（現状分析、政策企画）し、その成果はどうであったのか。また、本市の経済活動活性化対策の基本視点はどのようなものか。</p>		市長
	<p>( 2 ) 本市の経済活性化として、地場産業の発展や商店街の活性化があるが、市内に進出した大店舗が市内の個別商店に与えた影響をどのように分析しているか。</p>		
	<p>( 3 ) 新庄原市発足後 5 年間に、合併前のものを含めてさまざまな活性化目的施設に建設費、管理運営費等を投入してきたが、その成果は経済活動の活性化としてどのように把握しているのか。</p> <p>そして、施設内で食事を提供する施設が多いが、これらの施設周辺で同種事業者との競合が発生し、既設の食事提供商店の経営を圧迫する危険性がある。この点についての見解を何う。</p> <p>市財政を投入して建設する市内経済活性化目的の施設は、既設の市内業者の経済</p>		



順位	1 1	質問者	福山 権二
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者
1. 経済対策について	活動を支援することのみに限定した企画とすべきと思うが、市長の見解を伺う。		市長
2. 雇用対策について	<p>安定した市民生活の基本は、安定した雇用実績の維持が不可欠である。この観点から次の点について伺う。</p> <p>合併後5年間の雇用状況の推移はどのようになっているか。経済不況の中で、行政が積極的な雇用創出を企画する必要があるが、市長の見解を伺う。</p>		市長

順位	1 1	質問者	福山 権二
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者
3 . 医療対策について	<p>医療体制の充実は市の継続課題であるが、次の点について伺う。</p> <p>隣市、府中市上下町の府中北市民病院は、旧上下公立病院時代から、東城町、総領町など現庄原市民との関連がある医療機関であるが、この病院から市民が救急医療を受けている現状はどの程度か。</p> <p>そして、地域医療の充実という観点から、府中北市民病院は庄原市民にとっても、重要な医療機関であると考えますが、本市行政としてこの病院の位置づけについて伺う。</p> <p>また、府中北市民病院は、神石高原町、三次市、庄原市、それぞれの自治体住民にとって、安定した医療体制の確保という点では不可欠な施設である。この施設の管理者である府中市は現在、市内医療体制の充実のため対策を進めているが、周辺自治体として府中北市民病院の医療提供力を維持、増進する視点で関係自治体との連携を検討する必要があるが、市長の見解を伺う。</p>		市長

順位	1 2	質問者	田中 五郎
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者
1. 平成 23 年度 を新庄原市農 林業振興計画 の策定・実行初 年度に	<p>(その背景)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 庄原市まちづくり基本条例・議会基本条例施行初年度</li> <li>2. 新広島県農林水産業活性化行動計画実行初年度</li> <li>3. 国の施策体系もほぼ決まる</li> <li>4. 庄原市特産農産物ブランド化検討委員会設置(地元研究機関等との関係強化)</li> <li>5. J A 庄原、農業委員会の新体制スタート</li> <li>6. 庄原市長・農業委員会会長の広島県農業会議会長・副会長</li> </ol> <p>( 1 ) 本市農林業の現状をどのように認識され、平成 23 年度農林業施策の柱をどのように考えられているか。</p> <p>( 2 ) 庄原市農業自立振興プロジェクト報告書を据え置くのか。項目対応するのか。</p>		市長

順位	1 2	質問者	田中 五郎
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者
2 . 農業委員会会長としての庄原農業の現状認識と農業委員会の役割について	( 1 ) 本市農業の現状認識と農業委員会の役割について伺う。		農業委員会会長
	( 2 ) 前項目に対しての農業委員会としての認識を伺う。		
	( 3 ) 名実ともに名農業会議会長として存在していただくために、どう補佐し、庄原市農業委員会活動を高めるのか。		

順位	13	質問者	小谷 鶴義
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者
1.自治振興区と支所の関係のあり方について	<p>自治振興区の活動拠点として自治振興センターへ移行が進められているが、支所との関係はどうなるのか伺う。</p> <p>庄原地域において、自治振興区のモデル事業の経験の中で、他地域でも公民館の自治振興センターへの移行を促進している。</p> <p>しかし、それぞれの地域には支所があり、支所との役割分担、あるいは自治振興区の独自性にお互い苦慮しているのではないか。</p> <p>例えば、市政懇談会を今度は自治振興区の代表者で行う計画となっているが、要望・意見の取りまとめは事前に集約し回答することになっている。自治振興区とヒアリングをするのか、支所との絡みはどうするのか。</p> <p>旧庄原市でモデルをつくったときと違う環境が出てきていると思うが、自治振興センター化もできたばかりで、自治振興区と支所の役割分担がわかりにくい。今後の自治振興区のあり方を伺う。</p>		市長

順位	13	質問者	小谷 鶴義
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者
2. 市内一斉小・ 中学校学力調 査について	<p>市内小・中学校の学力は概ね定着と広報で発表された。本市と全国の比較も出されている。</p> <p>数学を例に質問するが、全国正答率との差、中学1年生の6.2はどのような差なのか。基礎部分、活用部分での4.1と3.4の差はどのように判断すればよいのか伺う。</p>		教育長
3. 高等学校再編 について	<p>吉田高校と向原高校のキャンパス化の実施が本年度中に行われるとの新聞報道があった。</p> <p>庄原地区においても、教育長の見解はその方向がよいのではないかとということだが、教育委員会としてもそのことは協議し理解しているのか伺う。</p> <p>東城高校・西城紫水高校・庄原格致高校の今後の見通しはどうか。進学をめざす子どもが他市の高校に行くのではないかと。教育委員会内での協議、また県教委が示す情報等を伺う。</p>		教育長

順位	14	質問者	垣内 秀孝		
項目		質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者	
1. 庄原市健康増進施設比和温泉施設あけぼの荘の整備促進について		(1) 比和温泉施設あけぼの荘と名称はなっているが、比和町の総合開発センターの位置づけで設置されている経過がある。地域住民はクラスターのまちづくりの中核となる重要な施設として認識しているが、市長の考え方を伺う。		市長	
		(2) 本市の長期総合計画・後期実施計画に計上されている比和温泉施設あけぼの荘の整備について、位置づけ等、見解を伺う。			
		(3) 建設計画はあると聞き及んでいるが、現在の取り組み状況は。			
		(4) 築後約40年を経過しており、施設劣化で修理経費も増となっている現状から、建設にあたっては地域資源を活かした憩い、ふれあい、交流の場を提供する観光交流施設とする考えはないか。			
		(5) 中国横断自動車道尾道松江線の平成24(2012)年一部供用開始によって、人、車等、動線は変わると予測される。地域魅力の観点と活性化のため、早期整備の考えはないか。			
		(6) 計画が後年度へと繰り下げと見受けられるが、補助事業採択等からの計画性が。10カ年の合併特例債事業も6年経過している。遅れている現状について伺う。			